

●製品概要

器具形式	種類	適合セード形式 ※1	セード形式	適合ランプ形式
039-005P	直付灯	SAW415 SAW415Z ※6	SAW713 SAW713Z ※6	M(F) 700・1000LS/BU ※4 M(F) 1000B/BU (-UVC) ※4 MF700・1000BEH/BU ※4 NH(T) 660・940(F) LS ※5 H(F) 700～1000(X) BH(F) 100/110V750W ※2 BH(F) 200/220V750W
Y39-005P	自在天井灯	SAW713 SAW713Z ※6 SAW415 SAW415Z ※6		SAW415 SAW415Z ※6
039-155P	パイプ吊灯			
039-455P				
Y39-455P	自在パイプ吊灯			
039-455C	チェーン吊灯			

- ※1 ご使用になる適合セードの注意事項をご確認の上、セードに適合するランプをご使用ください。
- ※2 セルフバラスト水銀ランプでガラスプロテクタなどの取付けによる密閉状態でご使用になる場合は、200/220Vをご使用ください。
- ※3 セラルクスは弊社のランプと安定器をご使用ください。
- ※4 万一のガラス球破損に備えて必ずセードの前面にガラスプロテクタを取付けてください。(ガラスプロテクタ：PSAW71Gに付属されている補強リングは使用しません。)
- ※5 高圧ナトリウムランプは振動や衝撃のある場所では使用しないでください。
- ※6 セード SAW713Z, SAW415Z は耐薬品性、耐塩性の求められる場所では使用できません。

●器具の配線工事は必ず工事店、電器店(有資格者)などに依頼してください。
一般の人の配線工事は法律で禁止されています。

施工説明

施工者様へ、この取扱説明書はご使用になるお客様に必ずお渡しください。

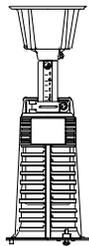
施工者様へ、安全上のご注意

⚠ 警告	
● 施工は取扱説明書に従って正しくおこなってください。 施工に不備があると、火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。	!
● 屋内天井取付(下向き)専用器具(一般屋内用)です。その他の場所や状態および壁面には取付けできません。 指定以外の取付けをすると、火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。	⊘
● 直付灯・自在天井灯・パイプ吊灯・自在パイプ吊灯は水平面に取付けてください。傾斜面には取付けできません。 指定以外の取付けをすると、落下によるケガのおそれがあります。	!
● 雨や水のかかる場所、強い風の吹き抜ける場所、振動や衝撃の激しい場所、腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所、粉塵の多い場所、湿度85%を超える場所、周囲温度が35℃を超える場所、塩害地域では使用しないでください。 点灯不良、火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。	⊘
● 器具を改造しないでください。 火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。	⊘
● 適合以外のルーバー・ガード・プロテクタなどを取付けしないでください。 落下によるケガのおそれがあります。	⊘
● 安定器別置形です。使用するランプ・電圧・周波数を確認のうえ、適正なものをご使用ください。 ランプの破裂、火災のおそれがあります。	!
● ランプは取扱説明書に記載された使用制限を確認のうえ、適合ランプと安定器との適合を確認し、ご使用ください。 ランプの破裂、火災のおそれがあります。	!
● 接地工事は電気設備技術基準に従って確実にこなしてください(D種接地工事)。 接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。	⚡
● 電源接続は、取扱説明書に従って確実にこなしてください。 火災、感電のおそれがあります。	!
● ボールが直接当たるような場所では、適合する体育館ガードを取付けてください。または、ネットを張るなどして保護してください。ネットを張るなどする場合は、器具やセードには取付けしないでください。また、器具との距離は1m以上離してください。 火災、ランプの破損、落下によるケガのおそれがあります。	!
● 器具と照射面との距離は1m以上離してください。 火災のおそれがあります。	!
● 039-455Cは取付けるランプ・セード・プロテクタなどの合計質量は5kg以下とってください。 器具落下によるケガのおそれがあります。	!

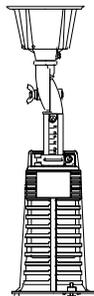
●各部の名称と取付方法 [下の全体図は一部を抽象化した構造図です]

全体図1

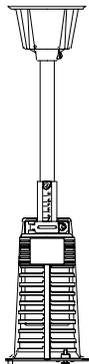
O39-005P



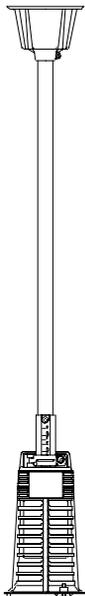
Y39-005P



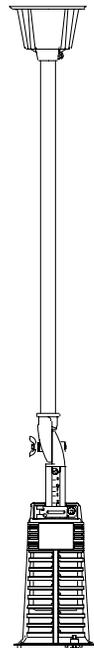
O39-155P



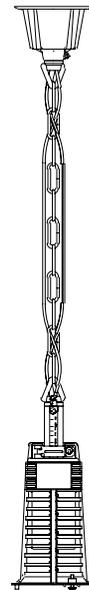
O39-455P



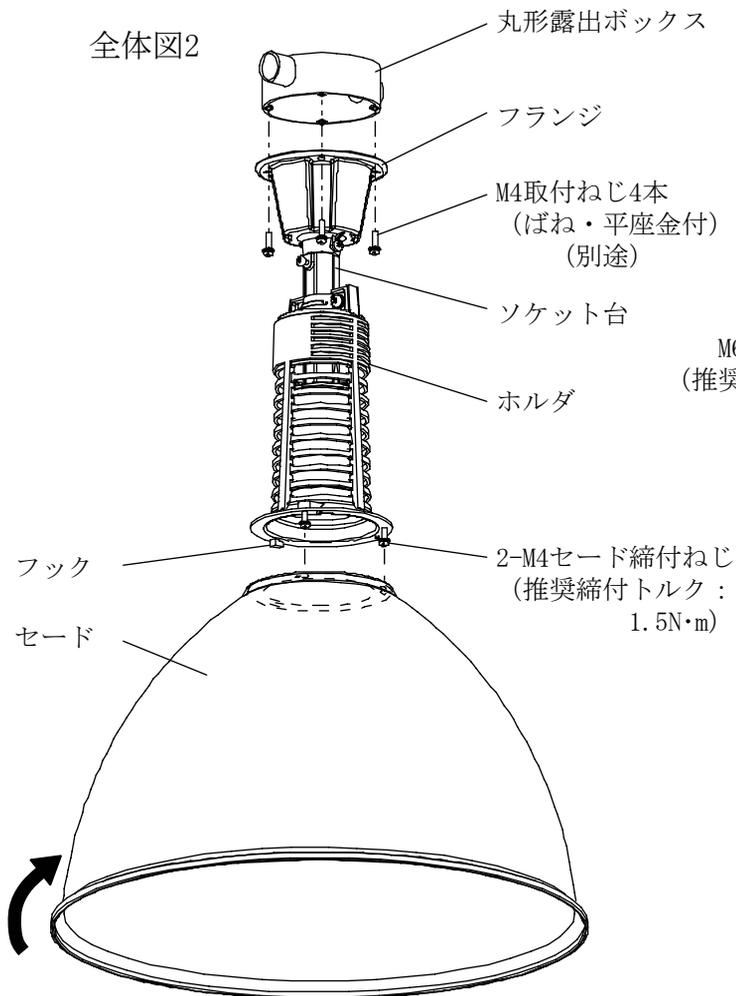
Y39-455P



O39-455C



全体図2

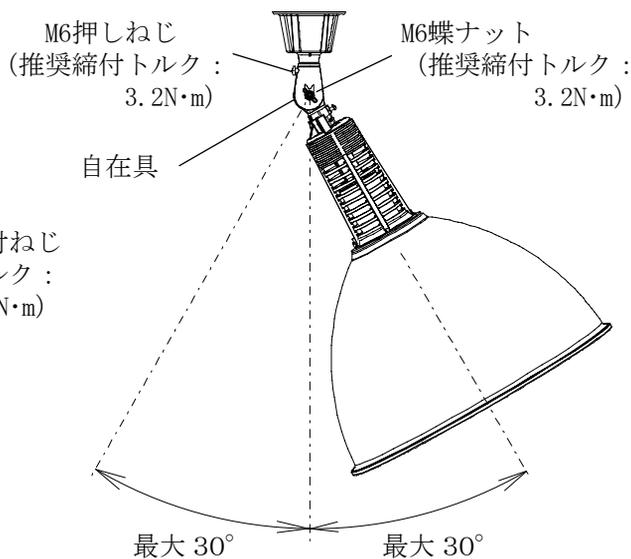


【警告】

O39-455C

は取付けるランプ・セード・プロテクタなどの合計質量は5kg以下としてください。

全体図3



【注意】

Y39-005P, Y39-455P

のセード振り角度は30° までとしてください。
※使用するランプのランプ点灯方向の制約を確認の上、角度を調整してください。

■照明器具の設置および配線方法

1. ソケット台位置合わせ (図1)

M5ソケット台締付ねじをゆるめ、下表の「ソケット位置調整一覧」を参照し、セードと配光とランプの種類に対応するソケット台の目盛り(A~H)に、固定金具上端を合わせ、M5ソケット台締付ねじを締付け(推奨締付トルク:2.5N・m)、固定金具で確実に固定してください。
 ※不備がありますと、ソケット台の位置がずれ、適正な配光を得ることができなくなります。

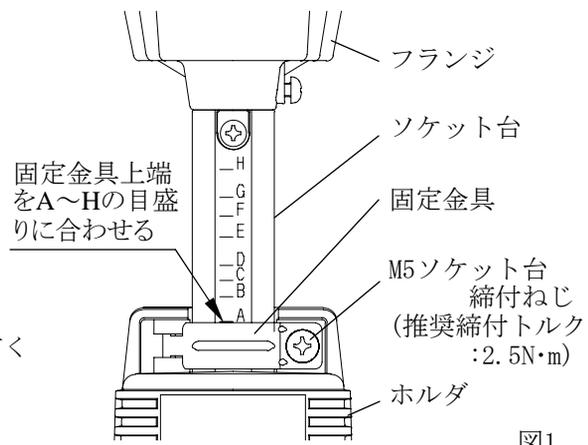


図1

2. 取付面強度確認 (図2: 取付寸法)

取付面は取付ける器具やセードの合計質量に耐える強度を確保してください。
不備がありますと、器具落下によるケガの原因となります。

3. 電源線の接続 (図3)

端子台に適合する(端子台適合電線: 600Vビニル絶縁電線(IV)もしくは600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF)、電線径φ1.6mmもしくはφ2mm、単線)安定器二次側線2本を付属の保護チューブに各々通し、端子台に確実に差し込んでください。
 端子台のアース端子を利用して、D種接地工事をおこなってください。
 ※端子台はより線接続不可です。やむえず、より線を使用する場合は、適合径の絶縁被覆付棒端子を使用してください。
接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

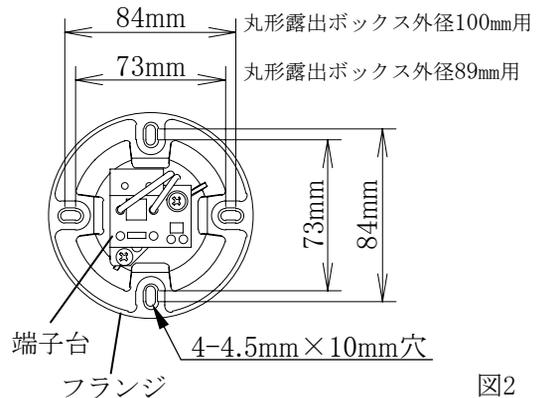


図2

4. 取付面(ボックス)への取付け (全体図2)

フランジを丸形露出ボックスなどの取付面にM4取付ねじ4本(ばね・平座金付)(別途)で確実に固定してください。
不備がありますと、器具落下によるケガの原因となります。

5. セード取付け (全体図2)

ホルダのフックと2-M4セード締付ねじに、セードの穴を合わせて挿入し、セードを時計回りに回らなくなるまで回し、セードを2-M4セード締付ねじで締付け(推奨締付トルク:1.5N・m)確実に固定してください。
不備がありますと、セード落下によるケガの原因となります。

6. ランプ取付け

適合ランプをソケットにねじ込み、確実に取付けてください。
取付けが不完全な場合、ランプ脱落・不点灯の原因となります。

適合電線 : 単線専用
適合線種 : IV, VVF
適合電線径 : φ1.6mm, φ2mm

**※安定器二次側線2本は
 付属の保護チューブに必ず通すこと。**

【Y39-005P, Y39-455P セードの振り角度を変える場合】

7. 照射方向調整 (全体図3)

M6押しねじをゆるめ、自在具ごと回し照射方向を調整し、M6押しねじを締付け(締付推奨トルク:3.2N・m)自在具を確実に固定してください。
 ※自在具は90°以上回さないでください。
不備がありますと、器具落下によるケガの原因となります。

8. セード振り角度調整 (全体図3)

M6蝶ナットをゆるめ、セードの振り角度を調整し、M6蝶ナットを締付け(締付推奨トルク:3.2N・m)確実に固定してください。
 ※セードの振り角度は30°までとしてください。
 また、使用するランプのランプ点灯方向の制約を確認の上、角度を調整してください。
不備がありますと、ランプ破損および器具落下によるケガの原因となります。

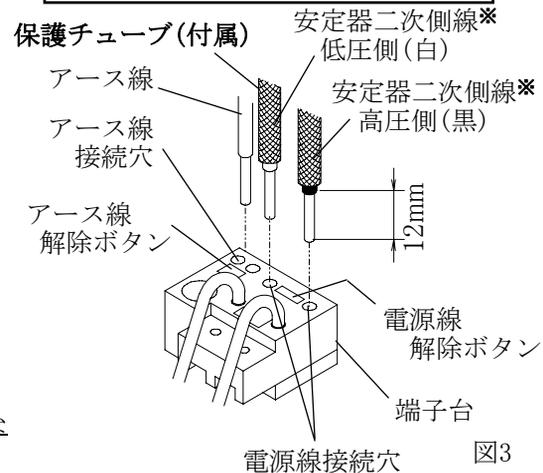


図3

「ソケット位置調整一覧」

セード 目盛	SAW713 (Z)			SAW415 (Z)		
	広照配光	中照配光	狭照配光	広照配光	中照配光	狭照配光
H	940~1000W	—	—	—	—	—
G	—	940~1000W	—	110~250W	—	—
F	660~750W	—	940~1000W	—	110~250W	—
E	—	660~750W	—	—	—	110~250W
D	—	—	660~750W	—	—	—
C	—	—	—	270~500W	—	—
B	—	—	—	—	270~500W	—
A	—	—	—	—	—	270~500W

ご使用前に、この安全上のご注意を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

お客様へ、安全上のご注意

警告

- 器具の改造、部品の交換はしないでください。
火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなど異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店または工事店にご相談ください。
異常のまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- ランプ点灯中および消灯直後の器具は高温になっていますので触らないでください。
やけどのおそれがあります。
- ランプは取扱説明書に記載された使用制限を確認のうえ、適合ランプと安定器との適合を確認し、ご使用ください。
ランプの破損、火災のおそれがあります。
- ボールが直接当たるような場所では、適合する体育館ガードを取付けてください。または、ネットを張るなどして保護してください。ネットを張るなどする場合は、器具やセードには取付けしないでください。また、器具との距離は1m以上離してください。
ランプの破損、落下によるケガのおそれがあります。
- 器具と照射面との距離は1m以上離してください。
火災のおそれがあります。

注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。
感電、やけどの原因になることがあります。
- ランプ交換の際は、取扱説明書に従って確実にこなしてください。
火災、感電、落下によるケガの原因になることがあります。
- 安全に使用するために、1年に1回は点検をおこなってください。また、3年に1回は工事店等の専門家による点検をおこなってください。(3年以上経過したものについては、入念に点検をおこなってください。)
異常状態のまま使用しますと火災、感電、落下によるケガの原因となる場合があります。
- 照明器具には寿命があります。一般的な使用場所では、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯 (JIS C 8105-1 解説による)

お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、中性の石けん水をひたしたやわらかい布をよくしぼって汚れを拭き取り、石けんが器具に残らないように乾いた布で仕上げてください。
シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変質によるグローブの破損や器具変色の原因となる場合があります。
- ランプ交換について・・・ランプ交換は、器具や安定器との適合と、ランプの使用制限を確認のうえ、おこなってください(IWASAKIのランプをご使用ください)。

お客様へ ランプ交換など保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守部品をお求めください。
なお、安全のため保守作業は、できるだけ工事店、電器店にご依頼ください。

●保証について

- 保証期間
この器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。ただし安定器は3年間です。
ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証内容
取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。
- アフターサービスについて
修理に関する相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店様(工事店様)または下記ご相談窓口にお問い合わせください。

●保守のための記録

工事完了後、今後の施設の安全維持のため「施工記録表」に記録のうえ、お客様にお渡しください。

施 工 記 録 表

工 事 名	取付年月	器具形式
工事店名	取付台数	使用ランプ
電話番号	ブレーカ-No.	使用電圧

●商品に関するご相談窓口

【CSセンター】 ☎ 03(3769)2068

・お問い合わせの際は、器具銘板または施工記録表で器具形式をご確認のうえご連絡ください。

※電話番号等、変更になる場合があります。予めご了承ください。